



2024年11月14日

各 位

会 社 名 株式会社ダイイチ
代 表 者 名 代表取締役社長 若園 清
(コード 7643:東証スタンダード、札証)
問 合 せ 先 取締役管理本部長
兼企画IR担当 西崎 進
(TEL 0155 - 38 - 3456)

中期経営計画の2024年9月末終了(1年経過)時点
におけるアップデートについて

2023年11月10日に公表しました中期経営計画について、1年が経過しましたのでKPIの進捗状況やそれを踏まえてのKPIの見直し内容、分野毎の課題等への取組み状況を取り纏め(アップデート)いたしましたので、お知らせいたします。

詳細は、別添資料をご参照ください。

以上



中期経営計画

対象期間：2023年10月～2026年9月

2024年9月末終了(1年経過)時点におけるアップデート

1. KPIの進捗状況と一部上方修正について

KPI	2024年 9月期実績 (進捗状況評価)	2026年 9月期目標(当初)
売上高	518億円 (○)	<u>550億円</u>
来店客数	2,005万人 (○)	<u>2,100万人</u>
当期純利益	1,424百万円 (○)	<u>1,250百万円</u>
投資+財務キャッシュフロー対営業キャッシュフロー比率	97.4% (○)	計画期間中 <u>60%超</u>
CO ₂ 排出量削減	0.228t-co ₂ /m ² (△)	売場面積当たり 排出量 <u>0.201t-co₂/m²</u>



2026年 9月期目標(見直し後)
<u>600億円</u> 新店計画の前倒し実施に伴い、 上方修正
<u>2,200万人</u> 新店計画の前倒し実施に伴い、 上方修正
<u>1,300百万円</u> 新店計画の前倒し実施に伴い、 上方修正
計画期間中 <u>60%超</u> 当初計画通り
<u>0.201t-co₂/m²</u> 当初計画通り

2. 戦略別の主な取組状況①

戦略分野	課題	第70期の主な取組状況
“お客様”を笑顔に	商品力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・地域企業等とのコラボ商品の開発・・・第70期は11商品 ・セブンプレミアム商品の取扱い拡充・・・第70期は約100アイテムを拡充
	お客様利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・すすきの店オープン・・・2023年11月 ・稲田店オープン(イトーヨーカドー帯広店継承)・・・2024年9月 ・千歳店オープン・・・2024年11月 ・イトーヨーカドー札幌アリオ店継承・・・2025年春予定
	ブランドイメージの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・すすきの店のオープンを機に、メディアへの発信を強化 →すすきの店を当社ブランドイメージの発信拠点に
“従業員”、“地域”を笑顔に	労働環境改善、人財の強化・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・研修強化・・・第70期は役職別、部門別研修を強化(第70期は20回) ・女性管理職の増強・・・第70期は2人増加させたほか、女性活躍推進支援法に基づく開示関連計数8項目は、女性取締役数を除く7項目を改善 ・ベースアップ(第70期は、非管理職に対し平均6.97%のベースアップ実施)
	ESGへの取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションイベント・・・セブン&アイ・ホールディングス等と共催 ・食育・・・地元小学校向けに食育イベント(ファイブ・ア・デイ)開催(2回) ・ノウフクイベント・・・農福連携(農業+福祉)イベント開催 ・環境保護・・・節水設備の導入(全店)、冷ケース入替(全店舗の1割強)、一部店舗の店頭サインのLED化等

2. 戦略別の主な取組状況②

戦略分野	課題	第70期の主な取組状況と今後の予定
“株主”を笑顔に	収益性の向上	<ul style="list-style-type: none">・ 第70期は、在庫含め原価管理を徹底し、売上総利益率を改善（第69期25.2%→第70期25.6%）・ 第71期は、資産除去債務の見直しの影響や新店オープンなどに伴い、利益率の低下を見込む
	株主還元強化	<ul style="list-style-type: none">・ 増配の実施<ul style="list-style-type: none">→ 第69期配当は、記念配当含め5円の増配を実施→ 第70期の配当は、<u>30円(当初1円増配を5円に増額)を予定</u>→ 第71期の配当は、<u>年間36円(6円の増配)を予定</u>・ 中間配当の実施<ul style="list-style-type: none">→ 第71期から、<u>中間配当を実施予定</u>・ 株主優待の改善<ul style="list-style-type: none">→ <u>優待内容を改善(金額規模で2倍程度に拡大予定)</u>・ 自己株式の取得<ul style="list-style-type: none">→ 第70期は、119,100株を取得→ 第71期は、<u>100,000株を上限に取得予定</u>・ <u>資本収益性・資本コストを意識した取組みとして、第70期は営業キャッシュフローのほぼ全額(97%)を営業規模拡大投資や株主還元等に振り向け</u>